

平成28年度

第 1 回

**えりも町総合教育会議
議 事 録**

□と き 平成29年 1 月30日（月）

午後 4 時00分～午後 5 時00分

□ところ えりも町役場庁舎（2階応接室）

平成28年度第1回えりも町総合教育会議議事録

1 日 時	平成29年1月30日（月） 午後4時00分～午後5時00分
2 会 場	えりも町役場庁舎2階応接室
3 出席者	<p>えりも町 えりも町長 岩 本 溥 叙</p> <p>えりも町教育委員会 教 育 長 川 上 松 美 教育長職務代理者 嗟 峨 直 樹 委 員 西 川 一 郎 委 員 田名部 光 一 委 員 川 崎 尚 子</p>
4 欠席委員	なし
5 説明員等	<p>えりも町 総務課長 泉 紳 一</p> <p>えりも町教育委員会教育支援課 課 長 今 野 章 課長補佐 橋 本 信 夫 ※学校管理係長兼務</p>
6 会議経過	別紙のとおり

会議経過(要旨) (平成28年度 第1回)

(平成29年 1月30日 午後4時00分開会)

- 教育長 これより第1回総合教育会議を開会します。まず、岩本町長よりご挨拶をいただきます。
- 岩本町長 みなさん、28年度第1回の総合教育会議にお集まりいただきましてありがとうございます。また、常日頃から当町の教育行政にお力添えをいただいていることに改めてお礼申し上げます。
- * 地方教育行政制度が改革され私に関わる部分が増えてきたように思うが、教育長をはじめ委員の皆さんに従来にも増してお願いすることが多くなるだろうと思う
 - * 1/25~27で実施した地区別町政懇談会で教育委員会のものも含めこちらから提案しつつ町民から質問を受けてきた
 - * えりも岬小での給食が開始されれば残りは庶野小のみとなるところだが、庶野の住民との意思疎通を図り協議・調整していかなければならない
 - * えりも高校の生徒数確保の課題については、まず2間口実現に向けた苦労を思い出すとともに、少子高齢化の影響が高校入学生徒数をも脅かすと思うところである。
 - * 高校が閉校となった様似町を考えたときに、えりも高校の2間口維持は不可欠と思うが、現実的な課題を突き付けられた中では、皆さんのお知恵をいただきながら、あるべき姿を模索していきたい
 - * 庶野小学校空き教室を活用した放課後児童クラブに関わって、昨年の子ども議会において耳の痛い話もあり、特にトイレに代表される校舎の老朽化の課題が大きい。すべて早急に対応するのは難しいものがあるが、放課後児童クラブについては開設していきたい思いがある
 - * 私の任期も残り4カ月程度となったが、大きな投資的事業について新年度予算には計上せず、骨格的予算として3月議会へ提案していく予定である
- 教育長 ありがとうございます。それでは本日予定の流れに沿ってこの会議を進めてまいりたいと思います。
- はじめにえりも岬小の給食についてです。
- * 昨年11/24に関係学校が集まって協議を行い、その結果について12月に報告を受けた。運営面については町教委としても大きな課題無く実施できるのではと考えている
 - * 今後は2月中に各学校の給食運営委員会で中間報告がされ、4月の総会で運営委員会としての最終的な周知が行われることとなるかと思われる
 - * 先日えりも中より要請があり、今野課長が保護者に対し説明を行った
 - * 現状より40食増え181食を予定。また、えりも小の実施に中学校及び岬小も合わせる
 - * ハード面については現在検証中であり、近日中に町長に対する説明を行う。また、町議会総務文教委員会に対しても説明を行っていく予定
 - * 最大の課題は運搬用コンテナの保管であり、保健所とも協議を行うとともにシュミレーションを行っている
 - * 早くて30年度4月からの実施をめざし、遅くとも本年6月議会には関係予算を提案して準備にあたりたい
- この件について、委員の皆さんからご発言をいただきたいと思います。
- 嵯峨委員 ぜひ実施していただきたいと思います。早めに行えるのが一番いいと思いますが、事務負担など諸々の課題を解決していただいて実施につなげてほしいです。
- 西川委員 やはり食中毒防止など衛生面の万全な対応をお願いしたいと思います。
- 田名部委員 私自身子ども3人が給食をいただいております。非常に助かっています。ぜひ岬の子どもたちにも、同じものをみんなで一緒に味わいながらいただく喜びを感じてほしいと思います。中学校の方々も概ね理解はいただいていると思っています。

川崎委員	えりも岬地区の住民として、少人数でありながらも真剣に検討していただいていることに心から感謝します。保護者ともども地域の子どもたちを見守りながら進めていきたいと思ひます。今後ともよろしくお祈ひします。
今野課長	大きな課題はコンテナとそれをトラックで運ぶ作業となります。衛生面について消毒など保健所から強く指導されていることから、シミュレーションは重要となります。また、その実施についてはどうしても長期休業中ということになります。本当に予定している人数等のできるのか検証する必要があります。また、3校の給食運営委員会での事務分担についても調整が必要です。
教育長	町長からございますか。
岩本町長	<p>ここまでよくこぎつけたという感があります。各校の間でしっかり調整をとりながら進めていただきたいところでは。</p> <p>庶野地区の町政懇談会でもすでに子どもたちは学校を卒業した参加者から「庶野の地でも早く実現してもらえればありがたい」という話がありましたが、えりも岬は実現したということ感慨があります。</p> <p>個人的にはもう少し早くスタートしたい思ひもありますが、いろいろな調整が必要でもあり、新たに検討すべきことの発生も考えられることから、しっかり進めていただきたいと思ひます。</p>
教育長	<p>教育委員会としては、財政面の課題も考え、庶野小での実施について検討する状況になったとしても、えりも岬小の給食実施についてまずは先に進めていく方向としています。</p>
	<p>続いて、えりも高校の生徒数確保対策について取り上げたいと思ひます。</p> <p>お手元の配付の資料は、広尾町が広尾高校生徒数確保に向けた対策の一覧ですので参考に使いたきたいと思ひます。</p> <ul style="list-style-type: none"> *29年度入試に係るえりも高校出願者は30名で、うちえりも中からは28名であるが、現在のえりも中3年生は44名である *平成5年度入学の当町職員に訊いたところ、当時の全町中学3年生は88名ほどおり、うち44名がえりも高校へ入学している *えりも中からえりも高校への進学率でみると高くなっていると思うが、総体的な人数が減少している状況で2間口維持が課題となっている *今後えりも高校をどうしていくか自分としても大きな課題と考えている。自分の考えとしては、何かしらの補助を行うこととしたとしても、高校教育の中身の充実と多様な進路を実現することは極めて重要であり、手厚い補助は生徒数の継続的な確保になかなかつながらないことがこれまでの例から見ても明らかである *一方で生徒の側に立ってみると、生徒数の減少が部活動に影響を与えている面もあるのが事実ではあるが、これ自体はどうしようもない部分である *広尾高校に限らず道立高校を抱える町ではこういう対策が打たれている *広尾が当町に目線を送っているのは、やはりかつて通学する生徒が多くいたということで、通学費や検定類への補助、衛星放送等を活用した遠隔による講習類の充実を図っている *えりも高校の韓国研修は学校による調査の結果からも高い評価を得ているが、毎年600万円を費やして実施していることを踏まえ検証することが必要ではないかと考える <p>こういったことを踏まえ、ざっくばらんにご意見をいただきながら町民みんなで考えていくことが必要だと思ひますが、委員の皆さんのご意見を伺いたたいと思ひます。</p>
川崎委員	私自身の経験からしても、海外に出てはじめて日本の良さを再認識することができるなど貴重な経験であることは確かですが、広尾高校の取組を目の当たりにすると、えりもでもこういった取組を考えていかなければならないのかなと思ひます。
田名部委員	全日制の第1期生として耳が痛く、また寂しい話だなと思うのですが、小中が給食で高校でまた弁当というのが大変という話も聞きます。そうすると高校でも給食を実現することが保護者の負担軽減につながると思ひます。広尾のようにお金をかける手もあるのですが、なかなか難しい面もあるのかなと思ひます。

ただ、近年のえりも高校の進路実績は非常に良くなっており、その点が町内の保護者にあまり知られていないのではと思います。えりも中地区別懇談会でも高校の校長などにいろいろと説明していただきましたが、えりも中PTA役員としてそのことは提案し実現しました。

西川委員 広尾の取組はうまいやり方、手段としてあるのかなと思います。ただ、えりも高校は決して広尾高校に引けをとっている訳ではなく、非常に多くの教育課程を持ち、多様な教育を選ぶことができるなど利点もある訳で、その点を町民にもっと知らせていくことが必要だと感じます。同時に通学費補助は大きいのではと思いますし、給食の実施も小中高での食育の観点からも考えるべきだと思います。

嵯峨委員 大体皆さんと同じですが、やはり部活動の面は大きいと思います。せっかく中学校で野球部など全道大会に出たとしても、いざ高校になるとみんな別れてしまうのが残念です。えりも高校のPRがまだまだ足りないのではないかと思いますし、給食については保護者負担の面からも考えていくべきだと思います。
また、海外研修は以前はえりも高校の特典的に考えられていたのではと思いますが、再考していく時期に来ているのかなと思います。

教育長 町長からございますか。

岩本町長 広尾の取組について、かつて広尾高校に通学していた子どもが多かったのは事実であり、生徒数確保のためにどうするかという思いから今回の取組になったのだらうと思います。
海外研修についてはこれまでもいろいろな議論があり、かつて町財政を担っていた際10年目を迎えたときに、当時の佐々木町長と協議もしましたが、町長が強く存続を希望したこともあって、自分も必要という認識を続けてきました。
給食に関しては、確かに高校でまた弁当というのが大変だろうとは思いますが、将来的な重荷になる可能性もありますが、検討する余地があると思います。
広尾高校への通学については、庶野～広尾間のJRバスのことを考えると足の確保に課題があると思うところです。広尾町内への下宿費用補助についてもそういったことを念頭に入れているのかなと思いますが、通学費助成についても町内外問わず考えていかなければならないと考えています。

川崎委員 繰り返しになりますが、海外研修は研鑽や日本の良さの再認識などの機会としてとても重要であり、継続してほしいとは思いますが、財政的に限度がある状況では通学費助成や給食実施などに主眼をおいてほしいと日ごろから思っています。

教育長 学校は今何をしているのかのお話がありましたが、えりも高校の魅力があまり知れ渡っていないのではと思います。他の市町村ではなかなかない中高連携の取組をどう発信していくか。百人浜緑化事業についての取組も、中高それぞれ点ではなく線で捉えていくとか、全小学校の参画も考えていくべきです。
また、今回初めて高校生によるえりも中での進路講話について、従来の中学校3年生から小学校6年生まで一気に対象を広げて行い、意識を持って学んでいってもらう取組を行いました。こういった取組を積極的に発信するよう手立てを打っていくことで中高の校長とは話しているところです。
お金をかけた取組ができればいいのですが、限度もあります。総論的にはえりも高校については賛成なのでしょうが、各論になると難しいのかなと思います。いずれにしても町民皆さんで考えていけるよう、発信していこうと思います。

最後に、庶野小空き教室を利用した放課後児童クラブについてです。
これについても、校舎改築の問題も絡んできますが、児童クラブを設置した場合、その部分は校舎改築となっても引き続き活かしていくことで検討しています。子ども議会でトイレの課題が取り上げられ、町教委としても現地を見た上で財政的な協議を町と行っていますが、やはり簡単にはできないというところです。ですから、ギリギリのところ子どもたちの意見を汲みつつ動いていかなければならないと思っています。町財政担当も全般的に前向きには考えていますので、放課後児童クラブについては進めていくことになるかと思われます。
この件についても委員皆さんからご意見をいただきたいと思っています。

西川委員	旧中学校部分を使用していないということで、築数十年で老朽化も進んでいると思います。児童クラブを考えている場所も含め、特にトイレについては課題が大きいと思いますので、児童クラブ開設に合わせてトイレの改修もお願いしたいと思います。
教育長	<p>旧校舎は築47年で、60年を経過しないと解体等が難しいのが実際のところですが、内部検討としては防災面を強化するという目的が認められれば国の補助も考えられるところですが、やはり大きな課題ではあります。</p> <p>いずれにしても、庶野小児童数の推移をみると、現在は46名程度ですが7年後には28名が予想される状況です。それでも現在の笛舞小やえりも岬小程度にはなりませんので、統合は考えにくいと思われます。こういった点や防災面からしても考えていかなければならないと思います。</p> <p>町長からございますか。</p>
岩本町長	<p>先日28名という話を聞いてびっくりしたところでした。どちらかといえば増えているという認識でした。</p> <p>庶野漁港は第四種漁港であり、国直轄による整備に加え、漁協も荷捌き所などを整備する予定であり、今後も漁業が安定的に行われると考えています。また、人口的にも本町地区に次ぐものであって、若い母親が多くて子どもも増えていくとばかり思っていたので、「どうなっているのか」と思いました。少子化の取組も必要であると認識させられたところです。</p>
川崎委員	庶野は漁業関係が多いところですよ。
教育長	<p>兄弟の数が減ってきているのかと思います。平成34年度から急に新入生が減りだす見込みです。</p> <p>また、東洋小は児童数からすると避けては通れない課題も出てきます。現状で一生懸命取組を進めてきている学校ではありますが、このままでは4年後に養護教諭と事務職員が不在となります。現在養護教諭と事務職員が配置されているのは、児童数ではなく特別支援学級が開設されていることによるものです(4学級)。特別支援学級の子どもが卒業するのが平成31年度末であり、その後平成33年度には2学級・5人となり、教頭も不在となってしまいます。いずれにしても平成30年度には地域の方々も含めた協議を進めていかなければならないと考えています。</p> <p>予定の時間になろうかとしています。皆さんの方からございますか。(なし)</p> <p>なければ町長からいかがでしょうか。</p>
岩本町長	<p>えりも岬小給食・えりも高校・放課後児童クラブと難しい課題を取り上げることとなりました。町政懇談会でもありましたが、庶野の中野牧場さんには5名ほどの人が外から来て働いていますが、住むところがないという話です。空き家活用の取組なども重要だと思いますし、庶野は新年度で公営住宅を予定しているところです。</p> <p>ただ、目黒の公営住宅には移住してくる方がいるという話を聞いています。</p>
教育長	<p>本日は1時間ではありましたが、重たい課題を取り上げることができました。本日の会議の内容を踏まえ、教育委員会でも取組を進めていきたいと思えます。以上で本日の総合教育会議を終了します。ありがとうございました。</p>
(午後5時00分閉会)	